

地区の取り組みを紹介します！

令和6年4月19日

第1号

阿見町防災危機管理課

☎029-888-1111(内線277)

あみ防災だより

西方地区で防災まち歩きを実施



令和5年10月28日(土)、西方地内にて、地区を3班に分けて防災まち歩きが行われました。

湯原区長にとって初めての防災まち歩きということで不安そうでしたが、参加者も多く集まり、用意していた地図には、実際に歩いてみて気付いたことや、災害時に不安なことが多く書き記されました。防災まち歩きの結果は公会堂にて共有され、危険箇所や消火栓の位置、避難する場所が書かれた「西方防災マップ」が完成しました。

防災まち歩きは地区の危険箇所を見つけることが目的ですが、一緒に歩きながら、住民同士でコミュニケーションを取ることも大変役立ちました。



【写真左】防火水槽の位置を確認

【写真下】まち歩きの結果を話し合い、地図を作成



富士団地 地区全体で防災訓練

令和5年11月3日(金)、富士団地にて、町内で震度6強の地震が発生したという想定で訓練が行われました。

この訓練では、地震が起きたときの初動対応訓練として、玄関先にタオルを掛けて安否を知らせる安否確認訓練や、火災や倒壊した家屋の下敷きになった人の救助活動を消火班、救護班等に分かれて訓練を行いました。また、各班の班長が一軒一軒安否を確認し、地区災害対策本部に報告するなど、実践的な訓練となりました。

初動対応訓練後には、阿見消防署指導のもと初期消火・応急救護・けが人の応急処置訓練が行われました。

この防災訓練は炊き出し訓練も兼ねており、公会堂にて炊き出しのカレーを食べながら、訓練の振り返りや反省点について意見交換が行われました。



救護班がけが人を運び込む様子



消火栓を用いた本格的な消火訓練

地区の取り組み大募集！

「防災訓練をしたいけどどんな訓練をすればよいか分からない」「他地区の取り組みを知りたい」「地区防災計画ってなに？」など、防災に興味はあるけど第一歩が踏み出せないというお声を多くいただいていることから、地区の取り組みを紹介する「あみ防災だより」を発行するに至りました。

今後は年数回、地区の防災活動を紹介してまいります。

防災訓練や地区防災計画のこと、そのほか防災のことでお手伝いできることがございましたら、町防災危機管理課まで遠慮なくご相談ください！

中郷東 11月25日に防災訓練、2月17日にダンボールトイレ組み立て訓練を実施



【写真上】我が家のタイムライン作成講座の様子
【写真下】ダンボールトイレ組み立ての様子



令和5年11月25日(土)、中郷東の公園にて、防災訓練が行われました。訓練では阿見消防署職員による応急救護・AED※の指導を行い、アルファ米の非常食体験、町防災危機管理課職員による講話及び各家庭において、水害時に逃げ遅れないためにやるべきことを確認しておく「我が家のタイムライン」作成講座が行われました。中郷東にとって久々の防災訓練とのことでしたが、多くの住民の方が参加されました。

令和6年2月17日(土)は中郷東公会堂にて、ダンボールトイレ組み立て訓練を行いました。災害時においてトイレが使えないということは深刻な課題となっており、その重要性を伝えるために訓練を企画した矢先、能登半島地震があり、一層危機意識を持って真剣に参加していました。

訓練では、ダンボールが固くうまく組み立てられなかったり、サイズが大きくて座りにくいなど、様々な注意点を確認できて充実した訓練になりました。

※ AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態になったとき、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器

二区南 育成会対象に救命訓練実施

令和6年2月25日(日)、二区南公会堂にて、阿見消防署職員協力のもと応急救護及びAEDの使い方講習が開催されました。育成会対象ということで若い方が中心に参加していました。阿見消防署職員は時折ユーモアを混ぜて分かりやすく訓練を進めていき、参加者は楽しくも学びのある訓練となりました。

参加者の中には、阪神・淡路大震災の時に関西に住んでおり、災害を経験した方もいらっしゃいました。

また、参加した方からは、実践型で学ぶことで、AEDを使うことへの不安が減り、これからは自信をもって救護できるという声も上がっていました。

防災士でもある小林副区長は訓練で「普段から地区のどこにAEDがあるか把握しておくことは大切。身の回りの人たちに何か起きたとき、助けられるようになってほしい」と述べました。



【写真上】阿見消防署指導による応急救護訓練の様子
【写真下】お子さんも訓練に参加



防災訓練補助制度について

令和5年度は15地区で防災訓練が行われ、コロナ禍で低調であった頃から立ち直りつつあります。年度内に1回、訓練費用のうち最大30,000円まで補助する制度がございますので、ぜひご活用していただきますようお願いいたします。



ご利用ください!